

菊池市長選挙 各立候補者 様

2025年2月14日

菊池市の学校給食を考える会

代表 中里 千恵

私たち「菊池市の学校給食を考える会」は、「菊池市内の小中学校に、安全・安心な学校給食の提供を」との思いで定期的に学習会を行うなどの活動を行っています。

今回、4月6日告示で行われます菊池市長選挙において立候補を予定されている方に、学校給食に関しての見解をお聞かせ頂きたいと思い、公開質問状という形で下記の内容での質問をお願いする次第です。お忙しい所大変恐縮ではありますが、ご協力よろしく申し上げます。

公開質問状

- 1, 現在、菊池市内の小中学校の給食では農薬や化学肥料の使用を減らした「特別栽培米」が使用されており、加えて昨年11月には3日間「無農薬米」が提供されました。このような取り組みを、私たち「菊池市の学校給食を考える会」は高く評価しております。今後は「無農薬米」の提供をさらに拡大することを目指すべきだと思いますが、この点についての見解をお聞かせください。
- 2, 菊池市は「オーガニックビレッジ」に取り組むことを表明されています。今後、有機農産物の生産・消費が広がることを期待します。学校給食についても米だけでなく、他の有機農産物の提供にも取り組むべきだと考えますが、どうでしょうか。
- 3, 農業は菊池市の基幹産業です。学校教育の現場においても、生産者に学ぶ「食育教育」は、食を大切に作る心を育み、郷土の良さを知ることにつながります。生産者と連携してのコメ作りや味噌作りなど、食に関する体験を更に充実することが重要だと考えますがどうでしょうか。
- 4, 熊本県においては、今般 TSMC 進出に伴い、関連企業の進出などが相次いでおり、いかに豊かな農地・水・環境を守るかが重要な課題となっています。これらは、食と切り離すことのできない課題です。農地や地下水の減少に対する懸念、また環境においては、地下水や河川からの PFAS の検出など、本市においても早急な対応が行われるべきであると考えます。このことについてのお考えをお聞かせください。

- 5, 国の種苗法改定により、今後ゲノム編集作物が市場に多く流通していくことに懸念があります。ゲノム編集に関しては、食の安全性への問題や環境への影響など、様々な問題点が専門家から指摘されていますが、①ゲノム編集作物について、どのように考えていらっしゃるでしょうか。②今後、ゲノム編集作物が近縁種と交雑し、広がっていく可能性を考えた時、菊池市の農作物を守るために、どのような対策を考えていらっしゃるでしょうか。
- 以上のことについて見解をお聞かせください。

ご回答につきましては、恐縮ではありますが3月10日までにメールまたは郵送にて宜しくお願いいたします。

尚、頂いたご回答は「菊池市の学校給食を考える会」のホームページに掲載させていただきますのでご了承ください。

「菊池市の学校給食を考える会」 chiekyokushi@yahoo.co.jp